



eラーニング 操作マニュアル

更新日 : 2020/10/09

■ログイン後の【ホーム】画面

インフォメーションには学会より重要なお知らせなどが表示されますのでご一読ください。

The screenshot shows the homepage of the Japanese Society Chemotherapy. At the top left is the logo and name of the society. On the right is a navigation bar with icons for Home and Logout. Below the navigation bar, there are two main sections: 'Information' and 'Class List'. The 'Information' section contains a message about the login screen after logout. The 'Class List' section displays a course titled '第39回抗菌薬適正使用生涯教育セミナー-Basic' with a duration from '2017/02/01~2017/06/30'. A red arrow points to the course title in the 'Class List' section. Another red arrow points to the user's name '吉田 晴美' displayed in the top right corner of the page header.

受講されるセミナー名をご確認ください。
クリックすると教科一覧が表示されます。

※こちらの画面は一例です。実際の画面とは異なります。

■教科一覧画面

進捗率

現在位置: 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

教科一覧

章 / 単元名	最終受講日	学習時間
第43回抗菌薬適正使用生涯教育セミナーBasic	0%	
愛講前に必ずお読みください (2ページ)	0%	
01.梅毒の診断と治療 高橋 聰	0%	
02.胆道感染症—その分離菌は治療対象ですか…	0%	
03.歯科診療に必要な抗菌薬の知識 古土井 …	0%	
04.一般外来における感染症診療の落とし穴 …	0%	
05.ケーススタディ 司会:三鶴 康繁	0%	
06.小児と成人に共通の感染症 斎藤 昭彦	0%	
07.Narrow spectrumへの挑戦 細川 直登	0%	
08.ケーススタディ 司会:笠原 敏	0%	
視聴確認問題	0%	
知識確認問題	0%	

【受講前に必ずお読みください】をまずご覧ください。ご覧いただくと各教材がクリックできるようになります。

各教材をご覧になる順番は自由です。
(教材は動画やスライドとなります)

全教材をご覧になると、「視聴確認問題」がクリックできるようになります。

「視聴確認問題」に正答すると「知識確認問題」がクリックできるようになります。

※こちらの画面は一例です。実際の画面とは異なります。

■内容確認画面

【受講前に必ずお読みください】を含め、タイトルをクリックすると全て以下の画面が表示されます。タイトル等をご確認いただき「受講開始」をクリックしてください。

閉じる 

教科名	: 第39回抗菌薬適正使用生涯教育セミナーBasic	
章名	: 第39回抗菌薬適正使用生涯教育セミナーBasic	
単元名	: 受講前に必ずお読みください	

受 講 開 始

受講履歴

実施回	実施時間	実施日
1 回	00:00:42	2017/02/21 11:18:37

閉じる 

※こちらの画面は一例です。実際の画面とは異なります。

■教材視聴画面

動画の場合、自動で再生がスタートします。動画画面をダブルクリックすると全画面表示となります。

※こちらの画面は一例です。実際の画面とは異なります。

動画画面をダブルクリックすると全画面表示となります。

中断すると視聴記録が残りませんので、途中で中止したいときは右下の「終了する」をクリックしてください。

視聴が終わりましたら【終了する】をクリックしてください。

シークバーで進めたり戻ったりできます。

00:00:03 / 00:00:15

受講時間 | 00:00:20
1 ▼ / 1ページ

◀ 戻る 終了する

中断する ▶▶

■ 視聴確認問題

全ての教材を視聴されると「視聴確認問題」がクリックできるようになります。

The screenshot shows a video player window. At the top, there is a progress bar with numerical markers from 0 to 100. Below the progress bar, a blue header bar contains the text: '以下の設問に答え、「採点する」ボタンより採点を実施してください。' (Please answer the following question, and click the 'Score' button to perform the scoring.). A question card is displayed, labeled 'Q1' in blue, with the instruction: '今回の8つの講演動画で表示された半角英数字および文字を順番に入力してください。' (Please enter the half-width English numbers and characters displayed in the 8 lecture videos in order). Below the question is a large input field. In the bottom right corner of the video area, there is a note: '※こちらの画面は一例です。実際の画面とは異なります。' (This screen is an example. The actual screen may differ.). At the very bottom of the window, there is a control bar with buttons for '中断する' (Interrupt), '受講時間 | 00:00:58' (Duration | 00:00:58), '戻る' (Back), and a red '採点する' (Score) button.

視聴確認問題については、「受講前に必ずお読みください」に詳細がありますのでご確認ください。

回答を入力して「採点する」をクリックしてください。正答するまで何度でも受講可能です。

■知識確認問題

「視聴確認問題」に正答されると「知識確認問題」がクリックできるようになります。

以下の設問に答え、「採点する」ボタンより採点を実施してください。

Q1

1. 感染症診療のプロセスとして【不適切なもの】を1つ選べ。
- A. 感染症の責任臓器についてカルテに記載がある。
 - B. 予想される原因微生物についてカルテに記載がある。
 - C. 抗菌薬開始前に微生物検査用の検体を採取している。
 - D. 最小発育阻止濃度の最も低い薬剤を治療薬として選択する。
 - E. ウィルス性上気道炎に対して抗菌薬を処方しない。

A B C D E

下にスクロールして全問お答えください。
解答は1つや複数の場合があります。



Q2

2. 感染症診療のプロセスとして【不適切なもの】を1つ選べ。
- A. 黄色ブドウ球菌血症があり、項部硬直を認める患者にcefazolinを使用する。
 - B. 黄色ブドウ球菌血症があり、項部硬直を認める患者にcefazolinを使用する。
 - C. 黄色ブドウ球菌血症があり、項部硬直を認める患者にcefazolinを使用する。
 - D. 黄色ブドウ球菌血症の例で合併症が無く経過良好のため、14日間の投与で抗菌薬を終了した。
 - E. 黄色ブドウ球菌が原因のカテーテル関連血流感染症例で、短期留置型中心静脈カテーテルを抜去した。

A B C D E

中断する

受講時間 | 00:00:03

戻る

採点する

中断はできません。初めからとなります。
ご注意ください。

全て解答されたら【採点する】をクリックしてください。

▼解答と解説をご覧いただけます。

Q1 1. 感染症診療のプロセスとして「不適切なもの」を1つ選べ。
A. 感染症の責任臓器についてカルテに記載がある。
B. 予想される原因微生物についてカルテに記載がある。
C. 抗菌薬開始前に微生物検査用の検体を採取している。
D. 最小発育阻止濃度の最も低い薬剤を治療薬として選択する。
E. ウィルス性上気道炎に対して抗菌薬を処方しない。

A B C D E

答え：
D
抗菌薬にはそれぞれブレークポイントの設定があります。これに基づいて「感受性」と判定された薬剤を、対象臓器を考慮しつつ選択するのが本来の抗菌薬の選択方法です。抗菌薬の最小発育阻止濃度を相互に比較することは、感染症の治癒の効果判定の軸点からは全く意味がありません。最小発育阻止濃度の量

※こちらの画面は一例です。実際の画面とは異なります。

Q2 2. 感染症診療のプロセスとして【不適切なもの】を1つ選べ。
A. 黄色ブドウ球菌菌血症があり、頸部硬直を認める患者にcefazolinを使用する。
B. 黄色ブドウ球菌菌血症例で心内膜炎の検索のために心エコー検査を行う。
C. 黄色ブドウ球菌菌血症の患者において、治療中にかえり薬の陰性化を確認する。

受講時間 | 00:01:48 | 戻る | 終了する

▼「終了する」をクリックすると結果一覧が表示されます。

テスト結果

設問	正答	正解	正誤	配点	問題	解説
問.1 E	D	不正解	1	問題	解説	
問.2 B	A	不正解	1	問題	解説	
問.3 B	B	正解	1	問題	解説	
問.4 B	C	不正解	1	問題	解説	
問.5 B,C	D,E	不正解	1	問題	解説	
問.6 B	A	不正解	1	問題	解説	
問.7 B	C	不正解	1	問題	解説	
問.8 B	C	不正解	1	問題	解説	
問.9 B,C	B,D	不正解	1	問題	解説	
問.10 B	C	不正解	1	問題	解説	

1. 分野1 正答率： 10 %

※こちらの画面は一例です。実際の画面とは異なります。

テストは合格するまで何度も受けられます。合格点数はセミナーによって変わります。「受講前に必ずお読みください」をご確認ください。また場合によっては問題がランダム表示されることもあります。

■全て終了後のホーム画面

The screenshot shows the homepage of the Japanese Society of Chemotherapy. At the top, there is a navigation bar with icons for Home, System, Department Management, Material Creation, Course List, Class Management, and Logout. A red circle highlights the 'Home' icon. Below the navigation bar, a breadcrumb trail shows 'Home > [The 43rd Antibiotic Proper Use Lifelong Education Seminar-Basic] Cluster Top'. On the left, there is a progress bar titled '進捗率' (Progress Rate) with a scale from 0 to 100. On the right, there is a table titled '教科一覧' (Subject List) showing the completion status of various seminar topics. A red arrow points to a message in the table: 'この教科は修了しました。' (This subject has been completed). The table includes columns for Chapter / Unit Name, Status, Final Completion Date, and Study Time. Most entries show 100% completion and 2017/08/24 as the final date. At the bottom of the page, a note states: '※こちらの画面は一例です。実際の画面とは異なります。' (This screen is an example. The actual screen may differ.)

全て終了すると
この科は終了しました。
と表示されます。

「ホーム」へ戻る

※こちらの画面は一例です。実際の画面とは異なります。

こちらか、右上のアイコンから【ホーム】に戻ってください
(修了証を表示するためにはホームに戻る必要があります)

■修了証の表示

ホーム

ホーム ログアウト

インフォメーション

既読 ログアウト後に表示されるログイン画面はご利用いただけません
[more...](#)

クラス一覧

第39回抗菌薬適正使用生涯教育セミナーBasic
受講期間：2017/02/01～2017/06/30

このクラスの全教科は修了しました

[修了証を表示](#)



【修了証を表示】をクリックしてください。

【修了証】が表示されますので、プリントアウトして単位申請にご利用ください。



修了証は一定期間後に削除されますので、必ずプリントアウトして保管してください。非会員の方でも、後日入会されると単位が有効となりますので、保管されることをお勧めします。

※こちらの画面は一例です。実際の画面とは異なります。

